



【塚本中国四国厚生局長の挨拶】



【医療の質・安全管理を捉え直す！（北野講師）】



【特定行為実践に関わる医療安全（菅田講師）】



【医療事故調査制度から1年（木村講師）】



【薬剤師の役割と課題（土屋講師）】



【チーム医療における理学療法士の役割（半田講師）】



【医師の立場から（栗栖講師）】

ワークショップでは、10月11日は7名の先生を講師・ファシリテーターとして迎え、多職種が協働する医療現場におけるコミュニケーションスキル向上を目的として、「多職種で学ぶチームSTEPS（ステップス）」を行いました。対面でのやりとりやグループ間の競争、自分と異なる職種の立場を想定したネットワークの再現など、様々なワークや討論を通じて、チームのパフォーマンスを高めるための課題やポイント、対策を学んでいただきました。



【宮崎講師】



【佐藤講師】

【ワークショップの様子】



10月12日はヒューマンエラーが関係した事例分析手法の一つである ImSAFER（アイエムセイファー）について、講義と少人数グループワークを通じてその理論体系を学習し、医療現場で要因分析と対策立案を支援し、改善に結びつけるための基本的手法を実践しました。



【田島講師】



【対策の評価・分析】

医療の質の向上と安全の確保は医療機関の取り組むべき課題であり、国民の願いです。

中国四国厚生局では平成16年度から医療安全セミナー・ワークショップを開催し、医療安全の普及と医療従事者のスキルアップのための研修を行っています。これらの取り組みを通し、安心・安全な医療の提供を支える医療安全管理体制がより充実することを願い、また今後も様々な角度から医療安全推進に取り組みます。

末筆となりましたが、今回セミナー・ワークショップの開催にあたり多大なるご協力、ご助言を頂いた講師やファシリテーターの皆さまに感謝申し上げます。

平成28年度医療安全セミナー・ワークショップ講師の皆さま

10月10日 星城大学経営学部医療マネジメントコース主任・教授 北野達也先生
岡山旭東病院看護次長 菅田節子先生
日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）常務理事 木村壮介先生
日本病院薬剤師会副会長 土屋文人先生
日本理学療法士協会会長 半田一登先生
広島大学病院副病院長 栗栖薫先生

10月11日 関西医科大学 宮崎浩彰先生
総合病院岡山協立病院 佐藤恭江先生
聖隷浜松病院 渥美生弘先生
亀田総合病院 鈴木真先生
滋慶医療科学大学院大学 志摩久美子先生
洛和会音羽病院 大谷雅江先生
洛和会音羽病院 小林雅子先生

10月12日 株式会社NSD ビジネスイノベーション 田島英明先生